

公益財団法人ワールドマスターズゲームズ 2021 関西組織委員会 2019 年度 事業報告書(2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日)

2019 年度は、2 月の大会エントリー開始に向け、競技運営や大会運営に係る重要事項の決定や、交流・観光・宿泊・交通の各施策等に係る仕組みづくりなどを着実に進めるとともに、大会 2 年前を迎え、政府が本大会を支援する旨の閣議了解を得たこと、骨太方針 2019 への位置付け、全国自治宝くじ収益金による支援承認などにより、本大会の価値や期待の高まりを実感した 1 年となった。

主な取組としては、本大会にとって重要事項である「競技別実施要項」、「大会参加規約」の策定公表を経て、大会エントリー開始につなげたほか、交流事業の実施計画策定、ボランティア募集開始・研修実施に向けた準備検討、大会専用観光サイトの構築や着地型観光商品造成支援、公式宿泊予約サイトの構築・運用、参加者がストレスなく移動(競技参加)できる交通体制の整備などを行った。

大会の周知・PR、誘客活動等においては、大会 2 年前やエントリー開始などの節目をとらえたイベント開催や TV CM の放映、メディアキャラバンの実施など集中的にメディアへの露出を図ったほか、ホームページや SNS を活用した大会情報の発信など機運醸成及び知名度向上に取り組んだ。

また、競技別シニア・マスターズ大会へのブース出展など競技団体と連携した競技者層へのアプローチや、企業に対し従業員への周知及び参加しやすい環境づくりへの協力依頼を行うなどターゲット別に戦略をもって参加者獲得に取り組んだ。

海外誘客においては、ヨーロッパマスターズゲームズ 2019 トリノ大会等海外類似大会において、直接参加者に対し大会 PR・参加の働きかけを行うとともに、韓国、台湾、インドなどアジアの重点国・地域の関係団体との関係構築による広報誘客活動を展開し、リピーター層(関心層)に加え、新規参加者層の獲得に取り組んだ。

あわせて、IMGA、スポーツ庁はじめ関係省庁、日本スポーツ協会、日本障がい者スポーツ協会、中央競技団体などの関係団体と連携を深めることで、今後の協力体制のより一層の強化を図った。さらに、連携協定締結団体、協賛企業、大会アンバサダーなど、本大会への協力・支援体制も順調に伸ばすことができたほか、11 月に開催されたワールドマスターズゲームズ 2021 関西推進議員連盟総会によって、大会成功に向けて、国、自治体、経済界、スポーツ団体等が一致団結する体制が強化された。

さらに、レガシーの創出については、関係団体と連携して実施するリーディングプロジェクトについて、取組を具体化することとした。とりわけ、障がいの有無、年齢、国籍、性別の違いを越えて誰もが楽しめる「インクルーシブな考え方を取り入れた大会づくり」の実現に向けた取組を明確化し、進めることとした。

なお、今般の新型コロナウイルス感染症の流行及び東京 2020 オリンピック・パラリンピックの 1 年延期決定を踏まえ、両会長から本大会の開催方針として、「新型コロナウイルス感染症の終息を前提に当初の計画どおり開催したい」とするコメントを発出し、現在、東京 2020 オリンピック・パラリンピックの延期に伴う本大会への影響について、スポーツ関係団体等との調整を進めているところである。

【事業費】

1 競技運営

(1) 関係団体との連絡調整

競技別実施要項の作成にあたり、関係省庁、日本スポーツ協会、日本障がい者スポーツ協会、中央競技団体及び各府県政令市実行委員会等との協議・調整を実施

(2) 競技大会の運営に関する調査

ハンドボール全日本マスターズ選手権、フライングディスク世界選手権をはじめ、国内で開催された各種マスターズ大会および国際大会の調査視察を実施

(3) 中央競技団体等との調整会議の開催

○ 実施日及び出席団体数

- ・ 第 1 回 2019 年 8 月 5 日(月) 38 団体(中央競技団体)
- ・ 第 2 回 2019 年 11 月 15 日(金) 34 団体(中央競技団体)

- ・第3回 2019年12月11日(水) 26団体12実行委員会(地元競技団体および実行委員会)
※ 第4回を2020年3月16日(月)に予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止

○ 内 容

- ・第1回
 - ・ワールドマスターズゲームズ2021 関西への政府支援に係る閣議了解等について
 - ・今後のスケジュールについて
 - ・中央競技団体への各種依頼事項について
- ・第2回
 - ・競技別実施要項(日・英)の確認等について
 - ・ワールドマスターズゲームズ2021 関西における障がい者の参加について
 - ・大会参加規約について
 - ・大会情報の発信について
- ・第3回
 - ・全体スケジュールについて
 - ・競技別実施要項の更新作業、HP公開状況等について
 - ・各競技会における募集枠等の設定について
 - ・競技用具の整備に係る東京2020組織委員会への照会について

(4) 競技要項等翻訳

国外及び国内の外国人に適切な競技会情報を提供し、競技会に安心して参加できるよう、競技別実施要項の英語版を作成のうえ公表

(5) 競技運営にかかる大会開催支援アドバイザー

日本体育協会(現 日本スポーツ協会)での国体競技運営を始めとした様々な知見とネットワークを持った、川口三三夫氏に2018年度からアドバイザーに就任いただいております。幹事会での講演や中央競技団体(クレー射撃、テニス等)との協議に関する助言を活かし、競技団体等との更なる連携による競技会準備を実施

- ・講演日 2019年5月21日(火)第36回幹事会
- ・講演内容 国体等の経験を踏まえた競技団体等と連携した大会づくり

2 大会運営

(1) 第2次総合実施計画の作成

組織委員会及び各実行委員会の大会づくりに係る大会終了までのガイドラインとするため、第2次総合実施計画の作成に取り組んできたが、新型コロナウイルスや東京2020大会の影響を踏まえた内容とする必要があるため、検討のうえ令和2年度に策定

(2) 大会エントリーシステムの構築及び運営補助業務

大会参加規約(大会参加資格、参加者区分、参加申込受付期間、参加料金、キャンセルポリシー、遵守事項等)の策定公表(2019年11月)、エントリーシステムの構築及び同システムによる大会参加申込受付業務の運営(アーリーエントリー2020年1月～、本エントリー同年2月～)、大会期間中の大会受付システムの構築

- エントリーシステム構築及び保守運営業務委託
 - ・受託者 富士通リース㈱
 - ・契約期間 2017年10月16日から2021年6月30日まで

(3) 大会案内業務(大会ヘルプデスク・コールセンター含む)

大会参加者の満足度向上を図るため、大会ヘルプデスク(メール問い合わせ)、コールセンター(電話問い合わせ)を2019年11月から設置運営、及び参加者ガイドブックの作成業務、大会期間中の各会場での大会案内業務、ゲートウェイ案内所設置運営業務実施に向けた準備検討

- ワールドマスターズゲームズ2021 関西案内業務委託
 - ・受託者 ㈱コングレ
 - ・契約期間 2019年4月1日から2020年3月31日まで

(4) 大会総合本部、各ビレッジの運営

参加者がストレスなく、競技に参加し、交流を楽しみ、各種の情報案内を受けられるよう、大会の各種機能(大会総合本部、大会受付、大会案内、交流の場など)の配置の決定、また、それらの各機能を設置する会場(オープニングビレッジ、センタービレッジ、各府県域に設置されるマスターズビレッジなど)の運営体制や平時・有事広報報道対応、大会参加者への連絡等の情報発信を行うための相互の連絡体制の構築など円滑な大会運営に向けた準備検討

- ワールドマスターズゲームズ 2021 関西大会運営業務(大会総合本部・各ビレッジ運営・大会受付)業務委託
 - ・受託者 ㈱電通 関西支社
 - ・契約期間 2019年4月1日から2020年3月31日まで

(5) 大学連携事業

- インターカレッジ・コンペティション 2019 の開催
産・学・官連携により、「ワールドマスターズゲームズ 2021 関西の開催にあたり、その成果を最大にするための企画」をテーマに、ゼミ単位のプレゼンテーションによるコンペティションを実施
 - ・開催日 2019年12月10日(火)
 - ・内容
 - ・プレゼンコンペ形式で予選・決勝を実施
 - ・最優秀賞・スポーツ庁長官賞
 - ・和歌山大学観光学部伊藤ゼミ竹本チーム「WMG ベジタリアンプロジェクト」

(6) 関係団体との連絡調整

関係省庁、日本スポーツ協会、日本障がい者スポーツ協会、東京 2020 組織委員会をはじめとする関係団体等に対し、大会運営への協力支援依頼や連絡調整を実施したほか、大会参加機運の醸成やスポーツを通じた教育・研究分野への貢献等レガシー創出を目的に、各関係団体と連携協力体制を構築

また、多くの国際スポーツ関係団体が加盟するスポーツアコードへ出席することで、全世界に本大会の情報を発信し、国際的な関係団体とも連携するとともに、IMG A事務局による競技会場の現地視察が行われ、順調な準備状況などを確認

① 連携協定の締結

- ゴールドコーストイベントマネジメント(パンパシフィックマスターズゲームズ運営団体)株式会社との連携協定締結式
 - ・開催日 2019年5月7日(火)
 - ・連携内容 相互大会のマーケティング機会の交換に関する事項 など
- 国立大学法人大阪大学との連携協定締結式
 - ・開催日 2019年5月28日(火)
 - ・連携内容 知識・情報の有効活用に関する事項 など
- 日本アンチ・ドーピング機構との連携協定締結式
 - ・開催日 2019年6月14日(金)
 - ・連携内容 大会に係るドーピング検査の準備、実施における相互協力 など
- 一般社団法人スポーツフォーライフジャパン(ザ・コーポレートゲームズ運営団体)との連携協定の締結
 - ・締結日 2019年10月7日(月)
 - ・連携内容 ワールドマスターズゲームズ 2021 関西及びザ・コーポレートゲームズへの参加機運の醸成 など
- 食博覧会・大阪 2021 実行委員会との連携協定締結式
 - ・開催日 2019年11月18日(月)
 - ・連携内容 食博及び大会のイベント実施に関する事項 など

- 日本スポーツ協会とWMG2021 関西組織委員会定例会
 - ・第 2 回 開催日 2019 年 4 月 12 日(金)
議 題 ・スポーツアコードにおける IMG A 理事会での承認について
・大会 2 年前イベントの実施について など
 - ・第 3 回 開催日 2019 年 6 月 13 日(木)
議 題 ・開・閉会式のコンセプト・キャッチコピーの決定について
・競技概要の発表について など
 - ・第 4 回 開催日 2019 年 8 月 5 日(月)
議 題 ・中央競技団体訪問の状況・成果
・今後の海外誘客活動予定について など
 - ・第 5 回 開催日 2019 年 9 月 19 日(木)
議 題 ・コアグラフィックの制作について
・第 3 回知名度調査 など
 - ・第 6 回 開催日 2019 年 11 月 15 日(金)
議 題 ・理事会・決起大会・議員連盟総会について など

② スポーツアコード

ワールドマスターズゲームズ 2021 関西大会のブースでの PR 発信や、IMG A 総会の場で大会のプレゼンを実施

- ・開催日 2019 年 5 月 5 日(日)～10 日(金)
- ・開催地 オーストラリア ゴールドコースト
- ・内 容 大会日程・目標人数、大会参加費 など

③ IMG A 事務局競技会場地視察

IMG A 事務局長および競技担当職員が競技会場を視察
<視察実績>

2019 年 11 月 7 日(木)

- ・大阪府泉南市 タルイサザンビーチ(オープンウォーター競技会場)
- ・和歌山海南市 和歌山県ライフル射撃場(ライフル競技会場)
- ・和歌山県和歌山市 ビッグホエール、ビッグウェーブ(インドアバレーボール競技会場)

2019 年 11 月 8 日(金)

- ・奈良県葛城市 新庄第 1 健民運動場(綱引競技会場)
- ・京都府和束町 湯船 MTBLAND(MTB 競技会場)

2019 年 11 月 10 日(日)

- ・兵庫県加西市 青野運動公苑(テニス競技会場)
- ・兵庫県神戸市 グリーンアリーナ神戸(バスケットボール、卓球、競技会場)
- ・兵庫県神戸市 ほっともっとフィールド神戸(硬式野球競技会場)

3 交流施策

(1) 交流事業関係準備

① 交流事業実施計画

大会期間中、参加者が交流を楽しめるよう、交流事業実施計画の作成業務について公募型プロポーザルにより受託事業者を決定し、期間中の以下の交流の場づくりに関わる実施計画を策定

- ◇オープニングビレッジ EXPO
- ◇閉会式前イベント
- ◇動画配信サイト及び一体感醸成イベント(中間イベント)
- ◇マスターズビレッジや競技会場での運営指針
 - ・受 託 者 株式会社電通 関西支社
 - ・契約期間 2019 年 6 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日まで

② フラワーリレー(仮称)実施計画

大会の機運醸成と開会式の演出効果を上げるため、2020 年度に 13 府県政令市のシンボルフラワーを用いたフラワーリレー(仮称)を計画

各府県政令市のシンボルフラワーを決定し、2020 年度からの当該事業の受託事業者選定業務を実施

(2) 関係団体との連絡調整

各実行委員会と個別にマスターズビレッジ及び周辺においての交流の場についての考え方の説明や現況についての協議を実施

また、閉会式前イベント(大阪城公園内)について、大阪市実行委員会、大阪城パークマネジメント株式会社と企画、運営に関わる協議を実施

4 ボランティア運営

(1) ボランティア運営・研修業務

各府県政令市実行委員会の担当会場を含めた全ての会場におけるボランティアの活動内容、人数などの配置計画案の作成、また、ボランティア募集要項の策定、団体ボランティア等募集開始、ボランティアヘルプデスクの設置(2019 年 11 月～)、エントリーシステムによる個人ボランティア募集開始(2020 年 2 月～)、ボランティア研修等実施に向けた準備検討

○ ワールドマスターズゲームズ 2021 関西ボランティア運営業務委託

- ・受託者 ㈱電通 関西支社
- ・契約期間 2018 年 12 月 19 日から 2021 年 6 月 30 日まで

(2) 募集広報・関係団体との連携

募集広報物として、パンフレット 85,000 枚、ポスター 5,000 枚作成し、各府県政令市実行委員会や関係各所配付・掲示するとともに、各地のスポーツ大会、ボランティア説明会での募集案内やボランティア募集サイトへの掲載等を実施

また、連携団体(ラグビー、オリパラ、JICA、全国外大連合)への働き掛けを実施

- ・ラグビーワールドカップボランティア同窓会での PR
- ・オリパラボランティア共通研修 PR、ボランティアマイページでの PR
- ・JICA 関西メールマガジン掲載依頼、海外協力隊家族連絡会での PR
- ・全国外大連合への語学ボランティア協力依頼
- ・日本障がい者スポーツ協会への協力依頼
- ・全国体育大学連合への協力依頼
- ・大学スポーツコンソーシアム KANSAI (KCAA) への協力依頼 など

【参考：ボランティア募集状況】

申込受付人数 (実人数ベース：2020 年 3 月 30 日現在)

必要見込総人数 (※)	申込受付人数
20,095 人	990 人(うちエントリーシステム受付 552 人)

※延人員を 3 で除した人数

5 安全対策・危機管理

(1) 危機管理対策

全ての会場(開閉会式会場、各ビレッジ会場、各競技会場等)において想定されるリスクを洗い出し、分析・整理し、それらの全体的な対応方針を「安全対策・危機対応にかかる全体指針」として取りまとめ、各府県政令市実行委員会と共有、また、より詳細な各会場における運営マニュアル作成のためのガイド作成準備(高リスク会場の実地視察・ヒアリングを実施し、全会場ごとのリスクブック作成着手、会場内や医療機関での外国語対応方策検討)

○ リスクマネジメントアドバイザー業務委託

- ・受託者 JLT リスク・サービス・ジャパン(株)・SOMPO リスクマネジメント(株)共同企業体
- ・契約期間 2018 年 12 月 7 日から 2021 年 9 月 30 日まで

(2) 大会保険等

大会運営準備に係るリスクに備えて一般賠償責任保険、役員賠償責任保険、サイバーリスク保険へ組織委員会として加入(一部、IMG Aや各府県政令市実行委員会等もカバー)し、今後加入すべきと想定される大会中止保険、傷害保険(競技出場者、競技関係者、海外VIPを対象)、ボランティア保険への加入について準備検討

6 観光施策

(1) 観光事業の基盤となる仕組みづくり

① 大会専用観光サイトの構築

大会参加者等が、どの地域を訪れても、その地域の魅力に触れることができるよう、開催地の体験プログラムを一元的にとりまとめ、検索・予約・決済までワンストップで対応できるサイトを構築し、2020年2月1日から運用開始

開催地毎に3件の体験プログラムを公開することとしており、2020年3月31日時点では58件の体験プログラムを公開済

② 着地型観光商品造成支援

観光サイトのコンテンツとして、各開催地でしか味わえないWMGオリジナルの体験プログラムを各府県政令市が造成することとし、国内・国外参加者に魅力的で訴求性のある体験プログラムとして販売できるよう専門的支援を実施

(2) 観光情報発信

参加者が開催地の観光情報をより深くコンパクトに入手できる仕組みを構築するため、各府県政令市の観光情報を集約して大会ホームページにて発信

7 宿泊施策

(1) 公式宿泊予約サイトの構築・運用

参加者が安心して競技に臨むことができるよう、競技会場近郊等での宿泊施設を過不足なく提供するため、競技(エリア)毎におすすめるホテルを「パートナーホテル」として設定し、大会専用の客室を事前確保、また、予約・決済までワンストップで対応する大会公式宿泊予約サイトを構築し、パートナーホテルを集中的に掲載して2020年2月1日から販売開始

(2) WMG宿泊センターによる宿泊施設関係団体等との調整

各競技(エリア)でパートナーホテルを設定していくため、宿泊業務委託事業として「WMG宿泊センター」を設置し、地元関係団体や各宿泊施設との専門的交渉を実施

8 交通施策

(1) 参加者がストレスなく移動(競技参加)できる交通体制の整備

① 交通パス

大会参加者が広域にわたる各競技会場へストレスなく移動できるよう、大会専用の交通パスとして「オリジナルJR関西ワイドエリアパス」「オリジナルKANSAI ONE PASS」の2種類を作成し、海外参加者には全員に提供、国内参加者にはオプション販売することが決定

◇オリジナルJR関西ワイドエリアパス(広域周遊分)

- ・開催エリア内の特急列車、快速、普通列車の自由席に、有効期間内であれば何度でも乗車可能(新大阪～岡山間の山陽新幹線(ひかり・のぞみのみ)の自由席も利用可能。一部区間、列車等を除く)
- ・有効期間：2021年5月11日～6月7日内の連続した7日間
- ・国内参加者販売価格：大人7,000円

<徳島県エリアパス>

- ・オリジナルワイドエリアパス購入者へは、徳島県マスターズビレッジにおいて、徳島県内で連続して5日間利用可能な交通パスを提供

◇オリジナルKANSAI ONE PASS(近郊分)

- ・交通系ICカードをベースとし、関西の主要鉄道会社・交通機関各社を切符の買い替えなしで利用可能
- ・有効期間：無し
- ・国内参加者販売価格：大人3,000円(デポジット500円含む)

② 広域シャトルバス

競技参加者の利便性向上のため、重複参加が想定されるオリエンテーリング、カヌー(スプリント・ロング)・バレーの3競技において、競技会場間を結ぶシャトルバス運行と、交通バスでの移動が困難な大阪駅～徳島駅間の移動に関して、参加者専用シャトルバス運行を決定

③ 域内シャトルバスの調整

各開催エリアにて利用されるシャトルバスの充足調整やバス事業者への混乱を避けるため、各実行委員会の負担するシャトルバスの調達業務を一元的に行うシャトルバス集約センターを設置し、関係団体等との調整を実施

(2) 大会参加者への交通インフォメーションの提供

広域開催である本大会において、多様な参加者がストレスなく会場へ移動できるよう、一覧性が高く必要な情報が集約された交通インフォメーションガイドを作成

また、各競技会場、オープニングビレッジ、マスターズビレッジ、センタービレッジ別にそれぞれのアクセシブルルートを記載した交通インフォメーションを日本語・英語で作成し、大会ホームページへ掲示

9 大会の機運醸成

(1) 広報媒体制作(ポスター、チラシ)

大会の知名度向上を図るため、PRチラシやポスターを作成し、競技団体や行政組織、企業等が実施するイベントや各種競技大会において、直接参加者に対し配付し参加への働きかけをするとともに、各団体が所有する施設等での配架及び掲出

そのほか、企業に対し従業員への大会周知について協力依頼を実施

○ PRチラシ配付数

・日本語チラシ	388,644部		
・外国語2つ折りチラシ(4言語)※競技日程入り			
英語	30,851部	中国語(繁体)	7,996部
中国語(簡体)	5,439部	韓国語	2,952部
・外国語チラシ(14言語)			
英語	13,786部	中国語(繁体)	5,312部
中国語(簡体)	5,814部	韓国語	5,190部
マレー語	312部	ロシア語	612部
ベトナム語	412部	ポルトガル語	357部
ドイツ語	1,292部	イタリア語	542部
フランス語	513部	アラビア語	32部
スペイン語	858部	タイ語	772部

○ ポスター掲出数

・国内用	14,087枚		
・海外用	欧米向け 169枚	アジア向け	42枚

(2) 広報グッズ(ノベルティ)制作

- ・大会名称・ロゴ、マスコット等をデザインしたPRグッズ(ぬいぐるみ、チェーンマスコット、キーホルダー、ピンバッジ、台紙付きマグネット、石けん等)を制作し、広報イベントや会議等において活用、また、海外でのPR活動用として、団扇や消せるボールペンなどのPRグッズを制作
- ・ヨーロッパアンマスターズゲームズ2019トリノ大会やオーストラリアンマスターズゲームズ2019でのPR活動用として、大会名称・ロゴ等をデザインした、Tシャツを制作

(3) 各種イベント等でのPR出展(着ぐるみスタッフ派遣費含む)

- ・大会の知名度向上及び機運醸成のため、各競技団体、府県政令市実行委員会、協賛企業等と協同し、全国各地のスポーツイベント会場において大会PRブースを出展
- ・大会マスコット着ぐるみも有効活用しながら、大会エントリー数の底上げを図るとともに、スポーツの楽しさ、健康増進の大切さを発信し、大会出場者や競技者層だけでなく、未経験者を含めた地域全体の生涯スポーツへの関心を高め、PRサポーターやボランティア等大会への幅広い参加につなげられるよう取り組みを実施

<出展実績>

- ・ファミリースポーツフェスタ(大阪市)
- ・企業対抗駅伝 2019 大阪大会(大阪府)
- ・セイコーゴールデンランプリ陸上 2019 大阪(大阪府)
- ・第2回全日本シニア軟式野球大会(岡山県)
- ・第13回全国スポーツクラブ会議2019(東京都)
- ・WFDF2019アジア・オセアニアビーチアルティメット選手権大会(和歌山県)
- ・アジアワールドダンススポーツフェスティバル(大阪府)
- ・第52回全日本シニアボウリング選手権大会(愛知県)
- ・西日本シニアソフトテニス選手権大会(奈良県)
- ・G20大阪サミット2019(大阪市)
- ・天神祭奉納2019日本国際ドラゴンボート選手権大会(大阪市)
- ・ROADtoWMG2021関西(大阪府)
- ・第14回東アジアスカッシュ選手権大会(東京都)
- ・JICA 関西2019夏祭り(神戸市)
- ・関西プレスクラブ懇親会(大阪市)
- ・第3回アジアジュニア・ユースオリエンテーリング選手権大会(山梨県)
- ・バドミントンフェスタ2019(東京都)
- ・第16回 KIX 国際交流ドラゴンボート大会(大阪府)
- ・国際フロンティア産業メッセ2019(神戸市)
- ・リレー・フォー・ライフ・ジャパン2019芦屋(兵庫県)
- ・日本体育学会第70回大会(東京都)
- ・第40回全日本マスターズ陸上競技選手権大会(群馬県)
- ・日本マスターズ2019ぎふ清流大会(岐阜県)
- ・RWC パブリックビューイングイベント(東大阪市、大阪市、京都市)
- ・第67回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会(大阪市)
- ・大阪城トリアスロン 2019(OSAKA スポーツパーク 2019)(大阪市)
- ・いきいき茨城ゆめ国体(茨城県)
- ・陸上自衛隊中部方面隊創立 59 周年記念式典(兵庫県)
- ・リレー・フォー・ライフ・ジャパン東京上野(東京都)
- ・ツーリズム EXPO ジャパン 2019 大阪・関西(大阪市)
- ・SEI チャレンジカップ&住友電工スポーツアカデミー(大阪府)
- ・スポーツツーリズムフェア in 京都(京都府)
- ・第16回マスターズ甲子園 2019(兵庫県)
- ・ねんりんピック紀の国わかやま(和歌山県)
- ・ハルカススカイラン(OSAKA スポーツパーク)(大阪市)
- ・企業合同物産展「東京 JAPAN 市 2019」(東京都)
- ・第9回神戸マラソン EXPO(兵庫県)
- ・第3回 WBSC 総会(堺市)
- ・SPORTEC WEST(大阪市)
- ・全日本シニアバドミントン選手権大会(福島県)
- ・アスマイルパークウォーキング in 万博記念公園(大阪府)
- ・全日本社会人バスケットボール over40、over50 選手権大会(宮城県)
- ・アスリートネットワーク感謝の夕べ(大阪市)
- ・第9回大阪マラソン EXPO(大阪府)
- ・女子ハンドボール世界選手権(熊本県)
- ・第7回日本マスターズ水泳スプリント選手権大会(千葉県)
- ・全日本ハンドボールマスターズシニア大会(熊本県)
- ・奈良マラソン 2019EXPO(奈良県)
- ・万博公園クロスカントリー2019 大会(大阪府)
- ・第3回全日本社会人テコンドー選手権大会 兼 第1回全日本マスターズテコンドー選手権大会(滋賀県)
- ・令和2年大阪新年互礼会(大阪府)

- ・近畿ソフトボール協会理事会(奈良県)
- ・日本成人病学会学術集会(東京都)
- ・スカッシュマスターズカーニバル(横浜市)
- ・第4回スポーツツーリズムシンポジウム、第8回スポーツツーリズムコンベンション@金沢(金沢市)
- ・第27回ワン・ワールド・フェスティバル(大阪市)
- ・第58回関西財界セミナー(京都府)
- ・第35回全日本年齢別ボウリング選手権大会(京都府)
- ・アスリートネットワークイベント(仙台市)
- ・2019FIA 全国スポーツクラブ駅伝(大阪府)
- ・京都マラソンEXP02020(京都府)
- ・KIX 泉州マラソン(大阪府)
- ・高松スポーツ・健康感謝祭 2020(香川県)

※ 以降は新型コロナウイルス感染拡大防止に伴うイベント等中止のため出展実績なし
 ※ 各競技会場にポスター掲出、パンフレット配架も実施
 ※ このほか、チラシ配架・ポスター掲出のみ実施したイベントもあり

(4) 節目イベント・WMG2021 魅力発信イベントの開催

大会の節目の時期(大会2年前・大会エントリー開始時)に大会の知名度向上・機運醸成、参加者獲得や大会の魅力を発信するためイベントを開催

○ 大会2年前記念イベント

13府県政令市実行委員会・メジャーパートナー企業・関西経済連合会等と共同し、WMG2021 関西の魅力やスポーツをすることの楽しさ等の発信

- ・開催日 2019年5月26日(日)
- ・開催場所 グランフロント大阪 うめきた広場(大阪市北区)
- ・内容 ステージイベント・参加者スポーツ体験型イベント
スポーツ体験・PRブース(13府県政令市実行委員会、メジャーパートナー、関西経済連合会等)
- ・来場者数 約8,000名

○ エントリー開始記念イベント

一般エントリーの開始日(2020年2月1日)とその前日に大阪と東京でエントリー開始のPRや大会の知名度向上・機運醸成のためのイベントを開催

<大阪>

- ・開催日 2020年1月31日(金)
- ・開催場所 大阪大学中之島センター 佐治敬三メモリアルホール(大阪市北区)
- ・内容 両会長により大会エントリー実演
※ 関西広域連合・関西経済連合会主催「関西スポーツ応援企業表彰式」と同時開催

<東京>

- ・開催日 2020年2月1日(土)
- ・開催場所 東京ミッドタウン アトリウム(東京都港区)
- ・内容 大会応援大使及び大会アンバサダーによるトークショー・大会出場宣言、大会PRブース、大会競技体験コーナー

(5) シンポジウムの開催

首都圏で開催し、全国的に参加者募集等を通じて大会PRを実施することで、大会知名度向上・機運醸成、参加者獲得や生涯スポーツ振興活動への理解等を促進

- ・タイトル 「みる」スポーツから「する」スポーツへ
ワールドマスターズゲームズ2021 関西シンポジウム
～ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピックから、ワールドマスターズゲームズ2021 関西へ～
- ・開催日 2020年1月18日(土)
- ・開催場所 浜離宮朝日ホール 音楽ホール(東京都中央区)
- ・参加者 約300名

・内 容

<挨拶> スポーツ庁長官 鈴木 大地氏(ビデオレター)

<講演①> ラグビーワールドカップ 2019 組織委員会 事務総長 嶋津 昭 氏
「ラグビーワールドカップ 2019 からワールドマスターズゲームズ 2021 関西へ」

<講演②> 神戸大学大学院人間発達環境学研究科 教授 長ヶ原 誠 氏
「「する」スポーツの国際舞台 ワールドマスターズゲームズの魅力と 2021 関西大会の可能性」

<パネルディスカッション>

テ ー マ : TOKYO2020 のスポーツの感動を KANSAI2021 のスポーツの躍動に

ファシリテーター : 長ヶ原 誠 氏(ワールドマスターズゲームズ 2021 関西レガシー創出委員会委員長)

パネリスト : 大日方 邦子 氏(大会アンバサダー・パラリンピックアルペンスキー金メダリスト・日本パラリンピアンズ協会会長・平昌パラリンピック日本選手団団長)

松田 丈志 氏(大会アンバサダー・元競泳日本代表)

八木沼 純子 氏(大会アンバサダー・スポーツコメンテーター)

<採録記事の掲載> 2020 年 2 月 27 日(金)朝日新聞 朝刊 全国版に採録記事を掲載

(6) 大会プロパティ活用促進

① ライセンス事務局

大会ロゴマークや各種スフラピクト等の大会プロパティの管理・運用し、開催府県政令市ごとに「ご当地スフラ」を作成し、広報・宣伝の際に広く活用できるよう打ち出し

② オフィシャルグッズの制作・販売計画の策定

2019 年 11 月 19 日に開催された「令和元年ワールドマスターズゲームズ 2021 関西」決起大会において、オフィシャルグッズの販売。商品の拡充のため、各府県政令市実行委員会の協力を得て、地元特産品の商品化の検討依頼を実施

また、オンラインショップの開設(2020 年 4 月予定)のための準備並びに大会期間中におけるオープニングビレッジ・センタービレッジや各マスターズビレッジ等で販売を軸として販売計画の作成を開始

(7) 全国への情報発信

大会 2 年前記念イベント、令和元年ワールドマスターズゲームズ 2021 関西決起大会、東京でのエントリー開始イベントの他、大会アンバサダーが参加したイベントでメディアアプローチを実施し、テレビ・新聞・WEB 等メディアへの露出を獲得

(8) ホームページ等情報発信事業

大会の情報発信、参加者の獲得のため、ホームページのコンテンツ拡充やフェイスブック等を活用したニュースの配信等を行い、大会を広く周知

- ・視覚・色覚障がい者に配慮し、ページ内の背景色や文字サイズを変更できるようページを改良
- ・参加規約の発表に合わせ、各競技詳細やエントリー情報、ボランティア、観光等カテゴリを細分化し、参加者獲得に向けたページを制作
- ・大会参加者に向け、観光特別体験プログラムや宿泊予約案内ページ等スポーツツーリズムを促進するようページを制作

(9) ポータルサイトの運用

ポータルサイト「Team Do Sports Portal(TD S P)」では、すべてのスポーツ愛好者の交流の場としてのプラットフォームとして運営している。デザインを一新、よりサイトの誘引を計り「するスポーツ」への関心・機運を高め、大会参加への誘導を展開

また、2020 年 2 月 1 日に開始されたワールドマスターズ 2021 関西の本エントリーに先立ち、TD S P 登録者のみを対象に、同年 1 月 6 日からの「アーリーエントリー」キャンペーンを実施し、参加者獲得を推進

(10) 大会アンバサダーの運用

既に大会応援大使として協力いただいている武井 壮氏を含む 51 名の元アスリートや著名人が大会アンバサダーに就任(2020年3月末現在)

組織委員会主催イベント以外に、府県政令市実行委員会主催のイベントにも参加し、メディア露出に寄与したほか、大会公式ホームページにてプロフィール、コメント等を掲載し、大会知名度向上の推進、また、一部の大会アンバサダーは大会への出場宣言をし、大会参加者の確保にも寄与

(11) 広報戦略にかかる大会開催支援アドバイザー

効果的な広報活動を実施するため、広報戦略分野における外部の有識者4名に大会開催支援アドバイザーに就任いただき、ホームページを中心とした各地域の魅力発信、メディアリレーション活動、ホームページアクセシビリティ等に関する助言を生かし活動

○ 広報戦略アドバイザー

- ・湯川 カナ 氏 (兵庫県広報官)
- ・有田 佳浩 氏 (兵庫県編集デザインディレクター)
- ・大高 三保子 氏 (KAIBA 株式会社 代表取締役)
- ・板垣 宏明 氏 (NPO 法人アイ・コラボレーション神戸 理事長)

(12) 各種会議用バックボード作成

大会2年前記念イベントなど各種イベントや毎月開催される関西広域連合委員会など、大会関係者やメディアへの露出が期待できる場にバックボードを掲出したほか、協賛企業の追加等に応じて適宜更新

(13) 大会マスコット着ぐるみの活用

各種イベント等での活用

(14) 表彰用メダルデザイン企画

競技参加者にとって最高の荣誉である公式競技メダルデザインの一般公募を実施し、83 作品の中から、有識者などによる審査を実施し、最優秀候補作品を選定

- ・開催日 2020年2月18日
- ・内容 83 作品の応募書類によりデザイン、コンセプト等が大会趣旨に照らして相応しいかどうかを審査し、最優秀候補作品3点を選定
- ・審査員 朝原 宣治 氏 (大阪ガス株式会社、北京オリンピック銀メダリスト)
大森 正夫 氏 (嵯峨美術大学教授)
佐々木 まなび 氏 (アートディレクター)
玉岡 かおる 氏 (作家)
木下 博夫 (WMG2021 関西組織委員会 事務総長)
中塚 則男 (WMG2021 関西組織委員会 事務局長)

(15) 協賛セールス推進事業

関西経済界企業を中心に積極的にセールス活動を行うとともに、メディアパートナーについては、ソーシャルメディアに対応したプラットフォームや大会開催地域の地元メディア各社との協業体制の構築を図り協賛社の拡大を展開

また、各府県政令市実行委員会スポンサー獲得に対してのサポートも実施

○ 第1期協賛 (2014年4月1日～2017年12月31日)

- ・メディアパートナー 15社
- ・パートナー 1社
- ・サポーター 8社 計24社

○ 第2期協賛 (2018年1月～)

- ・メジャーパートナー 6社
- ・パートナー 3社
- ・サポーター 18社
- ・メディアパートナー 19社 計46社(2020年3月1日現在)

(16) レガシー創出委員会運営

組織委員会及び関係団体が取り組むレガシー関連事業の進捗を報告するとともに、特に関係団体と連携して強力に推進すべき事業である「リーディングプロジェクト」の今後の進め方を議論するため委員会を実施

- 第6回レガシー創出委員会
 - ・開催日 2019年10月30日(水)
 - ・議題
 - ・WMG2021 関西の現在の準備状況について
 - ・レガシー創出の進捗について
 - ・リーディングプロジェクトについて
 - ・ローカルレガシーとしての TSUNAGU プログラムの登録件数について
- 第7回レガシー創出委員会
 - ・開催日 2020年3月18日(水)
 - ・議題
 - ・レガシー創出の進捗について
 - ・リーディングプロジェクトについて
 - ・レガシー継承事業について
 - ・ローカルレガシー継承事業について
 - ・レガシー報告書の作成について

(17) インクルーシブ有識者会議運営事業

生涯スポーツの国際総合競技大会として、年齢、性別、能力や障がいの有無に関係なく参加できるインクルーシブな考え方を取り入れた大会をめざすことを目的に有識者会議を実施

- 第4回インクルーシブ有識者会議
 - ・開催日 2019年9月2日(月)
 - ・議題 検討内容：競技の運営について、障がい者部門の設置や一般部門への障がい者の参加を配慮する具体的な内容など
- 第5回インクルーシブ有識者会議
 - ・開催日 2020年3月25日(水)
 - ・議題 大会の企画や運営について、障がい・年齢・国籍・性別に関係なく、それぞれの参加促進や参加に配慮した具体的な取り組みなど

(18) チャレンジデー開催支援事業

連携協定を締結した、(公財)笹川スポーツ財団が実施している住民参加型イベントを本大会のレガシーと位置づけ、府県政令市への説明会を実施するなど、開催市町村の参加を促進

- ・大会開催府県内市町村長あて事業参加依頼文書の発出
- ・チャレンジデーフォーラム
2019年8月23日(金)チャレンジデー2019 参加自治体・検討自治体・大会開催自治体の参加によるフォーラムで、本大会の機運醸成を推進

10 知名度向上(広報PR等)

(1) メディアリレーション活動(在阪・首都圏メディア)

本大会の報道露出獲得のため、節目イベントやエントリー開始などに合わせ、タイミングを捉えた在阪・首都圏メディアへのキャラバンを実施、あわせて、本大会の意義を在阪メディアに認知していただくため、在阪メディアが加盟する関西プレスクラブや共同通信社きさらぎ会において、メディアとの関係構築や、本大会関係者、アンバサダー等による講演会を開催

- 露出実績 1,253件(新聞547件、テレビ26件、WEB660件、その他20件)
- 関西プレスクラブ講演会
 - ・開催日 2020年2月12日
 - ・テーマ 「ゴールデンスポーツイヤーズが関西にもたらすもの」
 - ・内容 <基調講演> 間野 義之 氏(早稲田大学教授)
<トークセッション> 大西 将太郎 氏(元ラグビー日本代表・本大会アンバサダー)
大前 千代子 氏(大阪車いすテニス協会会長)
木下 博夫 (WMG2021 関西組織委員会 事務総長)

(2) メディアパートナーPR等事業 ※広報ツール(TVCM、WEB バナー)作成を含む

メディアパートナーへの協賛契約に基づき広告出稿を行い、大会知名度の向上・大会機運醸成、参加者確保等を推進

○ テレビ

情報番組や各放送局主催イベント等で大会PRを実施

参加者獲得を目的としたCM映像を作成し、エントリー開始時(2020年2月1日～21日)には、毎日放送、朝日放送、テレビ大阪、関西テレビ、読売テレビで、3月22日～28日は四国放送で放映。

また、在阪テレビのアナウンサー5名(毎日放送 山中 真氏、朝日放送 柴田 博氏、テレビ大阪 福谷 清志氏、関西テレビ 堀田 篤氏、読売テレビ 三浦 隆志氏)が大会を共に応援していただく「大会“アナ”バサダー(アナウンサーアンバサダー)」として、2年前イベントへ出演、各人が出演する番組等でもPR活動を実施

CM映像については、TVでの放映以外でも活用できるように、活用時期に応じたコメントが異なったものを作成し、各府県政令市実行委員会へ配付

○ ラジオ

・FM802 大会2年前(2019年5月)と、エントリー開始時(2020年2月)に番組を提供

・FM大阪 エントリー開始時(2020年2月)にFM大阪主催イベントにて、参加者へ大会パンフレットの配布や同時期にCMを放送

○ 新聞

日本経済新聞・神戸新聞・朝日新聞・毎日新聞・京都新聞・産経新聞・読売新聞各社において企画記事や広告を掲載

また、朝日新聞社は、シンポジウムの共催者として、参加者募集・採録記事掲載、会場確保等で協力

○ デジタルメディア

大会応援大使の武井壮氏をメインビジュアルにしたバナーを作成し、アーリーエントリー開始時(2020年1月6日)から、一般エントリー開始時(2020年2月14日)まで、ヤフーのトップ画面に掲載し、エントリー申込ページへの誘導を実施

○ 協賛社メディア

JR西日本のご提供により駅媒体(大阪駅、京都駅)や車両内ビジョンでPRを実施

○ 実行委員会メディア

各府県政令市の媒体にてPRを実施

(3) 知名度調査

参加者目標達成に向けた効果的な広報活動に活用するため、広報誘客指標の一つとして大会知名度調査を実施

・委託先 楽天インサイト㈱

・内容 ・2019年6月実施結果 全国：14.5% 開催地：20.9%

(調査期間) 2019年6月26日～7月3日

(調査手法) インターネット調査

(調査対象) 全国30歳～79歳の一般男女、4700サンプル

・2020年2月実施結果 全国：14.5% 開催地：29.3%

(調査期間) 2020年2月22日～2月27日

(調査手法) インターネット調査

(調査対象) 全国30歳～79歳の一般男女、4700サンプル

11 参加者獲得 ※国内・海外

(1) 広告掲出(大会プログラム等)

- ・競技大会等の大会プログラムへの広告掲出(国内) 11 件
- ・会報誌やガイドブックへの広告掲出(国内) 6 件
- ・海外類似大会の大会プログラムへの広告掲出 2 件
- ・主要駅など屋外各所への広告掲出 6 件

(2) 海外類似大会でのPR・誘客事業

- スポーツアコード(豪・ゴールドコースト/5月)
 - ・JAPAN ブースにおいて共同出展し、スポーツ関係団体やIF役員に対し広くPRを行うとともに、幅広いネットワークを構築
 - ・WMG関連大会の誘致をめざす韓国・全羅北道や台北市・台湾体育行政関係者と協議を行い、大会準備の現状に関する情報提供を行うとともに、WMG2021 関西への誘客の協力要請
 - ・ゴールドコーストイベントマネジメント(パンパシフィックマスターズゲームズ運営団体)との連携協定に調印、広報誘客における相互協力を確認
- ヨーロピアンマスターズゲームズ(伊・トリノ/7月)
 - ・ゲームズセンター内にブースを設置し、参加者及び同行者に対しWMG2021 関西への参加を呼び掛けるとともに、競技開催地である関西の文化や観光などの魅力を発信
 - ・同様にPRブースを出展しているパンアメリカンマスターズゲームズ(ブラジル・リオデジャネイロ)組織委員会や韓国・全羅北道をはじめとする類似スポーツイベント関係者とミーティング等を実施し、相互連携によるPR活動の実施を依頼
 - ・開会式のパレードに参加し、大会参加者や沿道の応援者に関西大会のPRを実施
 - ・参加者ガイドに大会の広告掲載。また、表彰式に続いて開催される夜の交流イベントのうち1日を「Kansai Special Night」と銘打ったイベントとし、大会をアピール
- オーストラリアンマスターズゲームズ(豪・アデレード/10月)
 - ・EXPO会場内にPRブースを設置し、参加者及び同行者に対しWMG2021 関西へ参加を呼び掛けるとともに、競技開催地である関西の文化や観光などの魅力を発信
 - ・同様にPRブースを出展している様々なスポーツイベント関係者に対して相互連携によるPR活動実施を依頼
 - ・主要な競技会場において競技参加者やそのサポーターに対するPR活動を実施
 - ・首都キャンベラやヴィクトリア州、ニューサウスウェールズ州における政府や州のスポーツ行政機関ならびにスポーツ関連団体を訪問し、WMG2021 関西の広報誘客活動への支援と協力を要請
 - ・オーストラリアにおいてスポーツ分野に力を入れている旅行会社を訪問し、関西大会への送客や関西大会を活用した旅行提案の実施を依頼
 - ・オーストラリアからの参加者拡大のため、訪日関心層に人気のミニコミ誌やスポーツ専門雑誌社への訪問等を行い、大会PRのための施策に関する打合せ等を実施
現在、スポーツ専門雑誌“インサイドスポーツ”への記事広告及び広告掲載が進行中
 - ・日本国大使館や領事館のほか自治体国際化協会やJNTOを訪問し、関西大会に関する意見交換を行うとともに、オーストラリアにおける関西大会PR活動支援を依頼
- アジアマスターズ陸上競技大会(マレーシア・クチン/12月)
 - ・競技会場にブース出展し、アジアの陸上競技者に対しPRを実施し、競技別実施要項の内容を紹介するとともに、各競技会場へのアクセス等詳細な情報を提供
 - ・アジアマスターズ陸上連盟総会において大会プレゼンテーションを行い、役員等に対しWMG2021 関西への誘客協力を要請、また、同協会のVivat会長と協議を行い、タイからの誘客についても協力要請
 - ・次回世界マスターズ陸上開催立候補地である韓国・大邱と今後の連携を確認(4月の大邱マラソンでPRブース出展を実施予定だったがコロナウイルス感染拡大の影響で中止)
 - ・大会アンバサダーの朝原氏による男子45+・4×100R出場を取材。世界新記録という結果に加え、朝原氏ほか出場メンバーでのワールドマスターズ参加を宣言いただいたことで、日本国内で効果的なメディア露出が拡大(12月)

(3) 重点国・地域へのPR・誘客事業

○ 韓国

- ・日本スポーツ協会が実施する日韓スポーツ交流・成人交歓事業の機会(下記)を活用し、アジア・パシフィックパスターズゲームズ誘致を推進する韓国・全羅北道と共同でブース出展及びプレゼンテーションを行い、両大会をPR

◇韓国生活体育大祝典(4月)

◇日本スポーツマスターズ2019 ぎふ清流大会(9月)

- ・全羅北道、大韓体育会ほか各種関係機関と協議を行い、誘客への協力依頼(4月)
- ・日韓交流おまつり2019にブース出展し、日本関心層へ向け幅広いPR(9月)
- ・クリアソウルのHPで大会紹介のための記事掲載(9月)

○ 中国

- ・日本スポーツ協会が実施する日中成人スポーツ交流事業による中国選手団受入れ時に選手団に対し大会PRを行った(11月)
- ・大阪で開催される中国各省市の観光セミナーに出席し、情報発信に協力いただける方々とのネットワーク構築(6月～12月)
- ・大阪市上海事務所の公式ホームページで中文大会紹介記事を掲載(6月、1月)

○ 台湾

- ・台北、台中、高雄各主要都市および教育部体育署(スポーツ庁に相当)、運動総会(日本スポーツ協会に相当)を訪問、誘客協議を行い、体育関連施設をはじめとした所管各所へのチラシ配架・ポスター掲示及びSNSでの情報配信を依頼(7月)
- ・台北市政府体育局の協力で同市主催の台北マラソンでブース出展を行い、ランナーに対しPRを実施(12月)
- ・台湾のスポーツシーンにおいて最も影響力のあるSNSメディア「運動筆記」との間でWMG広報記事掲載について調整(12月)

[その他]

○ インド

- ・第3回インドマスターズゲームズ開会式に出席し、大会参加者に対してWMG2021 関西への参加の呼びかけを実施。大会プログラムに大会案内を掲載
- ・インドマスターズゲームズ協会および各州スポーツ協会との会議に参加し、インド全土における大会周知を依頼
- ・在德里日本国大使館を訪問し、インド人の日本国査証取得に関する意見交換を実施するとともに、インドおよび周辺国に対する大会の周知を依頼

○ タイ

- ・8月に開催されたタイマスターズにあわせて訪泰。タイスポーツ省(SAT)、タイマスターズ連盟ほかタイシニアテニス協会、タイベテラン陸上協会など関係団体に対し誘客協力を要請

○ シンガポール

- ・シンガポールマラソンEXPO会場に自治体国際化協会シンガポール事務所と共同でPRブースを出展し、シンガポールだけでなくアジア各国から参加するマラソン愛好者に対してPR活動を実施(委託事業)
- ・WMGの次期開催地に立候補しているシンガポールのスポーツ行政機関(スポーツ・シンガポール)に対して、共同での広報活動を提案・要請

○ 香港

- ・JNTO香港の公式SNSを通じWMG2021 関西の情報発信を実施

○ モンゴル

- ・モンゴル陸上連盟に対し全国選手権成績優秀者の団体エントリーを要請

- 英国
 - ・英国陸軍の団体エントリー獲得に向け調整中
- 米国
 - ・類似大会である Huntsman World Senior Games と、団体エントリー獲得及びWMG2021 関西でのPRについて協議調整中

(4) 関係機関を活用した海外PR事業

- ・自治体国際化協会(クレア)に対し、海外事務所における関西大会PR活動支援や現地におけるスポーツ実施状況、スポーツ関係機関調査や協力要請を依頼
- ・関西領事団事務局を通じ、関西内の在日海外公館等にWMG周知を依頼
- ・大会開催自治体の海外事務所や姉妹省州市との交流事業を活用した大会PRの実施
- ・J N T Oの各海外事務所に対し、各地における関西大会PR活動支援を依頼
- ・J I C A関西事務所を通じて、各地における関西大会PR活動支援を依頼
- ・関西観光本部が発行するインバウンド向け関西観光ガイドブック及びKansai One Pass ガイドに広告出稿の機会を提供いただいたほか、同機関が出展する海外の旅行博、商談会などの場でWMG2021 関西のPRを要請
- ・J R 西日本のインバウンド促進公式SNSにて大会PRの記事配信をアジア各主要言語にて実施

(5) デジタルメディアを活用した海外PR事業

主にアジアの訪日関心層にむけて拡散力のある観光WEBメディアを活用し、国・地域ごとの人気スポーツや関心が高いコンテンツ等の分析に基づいた記事配信を通年で実施

<配信媒体>

- ・WMG2021 関西組織委員会公式Facebook(日本語・英語)
- ・事業再委託先のFun Japan Communications 運営サイト(英語・中文繁体字・タイ語・ベトナム語・インドネシア語)
- ・WMG2021 関西組織委員会公式微博アカウント(中文簡体字)※一部コンテンツのみ

<配信内容>

- ・競技×開催地域の魅力紹介及び各国・地域別配信記事(5月～12月)
※各競技とその開催地の魅力を紹介する記事のほか、配信国・地域ごとに人気の高い競技種目の分析に基づき異なった記事配信も織り交ぜ
- ・過去大会参加者(PRサポーター)へのインタビューを実施し、WMG未知層に対し大会の持つ魅力を発信(9月～10月)
- ・競技別実施要項発表、エントリー開始などのニュース配信及びエントリーの手順に関する情報補足記事、組織委員会が実施した類似大会での現地PRの様子などを紹介(随時)
- ・大会参加シミュレーション(バーチャルトラベル)プラン紹介記事(1月)
- ・WMGオリジナル特別体験プランの紹介(2月～3月)

(6) 過去大会参加者等によるネットワークづくり

WMG2017 オークランド大会、APMG2018 ペナン大会及びパンパシフィックマスターズ2017大会参加者及びWMG2021 関西大会PRサポーターとともに、今後の広報誘客活動につなげる目的で、2月から開始されるエントリーをどのような方法で一緒に打ち出していくかというテーマで意見交換を実施

- WMG過去大会参加者・PRサポーターの集い
 - ・開催日 2020年1月18日(土)
 - ・会場 レストランアラスカ朝日新聞社支店(東京都)
 - ・参加者 8名

(7) TSUNAGU 推進事業

- 天平綱引き大会 2019
 - ・開催日 2019年5月4日(土)
 - ・開催地 奈良県奈良市
 - ・参加者 約14,000名
 - ・参加アスリート 近鉄ライナーズ

- リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2019 芦屋
 - ・開催日 2019年9月7日(土)
 - ・開催地 兵庫県芦屋市
 - ・参加者 約2,000名
 - ・参加アスリート 柳本 晶一 氏 (アテネ・北京オリンピック全日本女子バレーチーム監督)

- 「TSUNAGU」アスリートネットワーク in すもと実行委員会設立 10周年記念事業
 - ・開催日 2019年9月23日(月)
 - ・開催地 兵庫県洲本市
 - ・参加者 約3,000名
 - ・参加アスリート 柳本 晶一 氏
根木 慎志 氏 (シドニーパラリンピック車椅子バスケットボール日本代表主将)
松下 浩二 氏 (Tリーグチェアマン)
浅越 しのぶ 氏 (プロテニスプレイヤー)
沖口 誠 氏 (北京オリンピック男子体操銀メダリスト)
木和田 大起 氏 (剣道世界選手権優勝)
荒川 大輔 氏 (走り幅跳び日本選手権優勝)
山本 篤 氏 (北京パラリンピック走幅跳銀メダル)

- つなGO 隠岐の島
 - ・開催日 2019年9月28日(土)
 - ・開催地 島根県隠岐の島町
 - ・参加者 約3,000名
 - ・参加アスリート 柳本 晶一 氏
根木 慎志 氏
江里口 匡史 氏 (ロンドンオリンピック日本代表)

- バトンをつなげ! 400mリレーフェスティバル
 - ・開催日 2019年10月14日(月)
 - ・開催地 奈良県橿原市
 - ・参加者 約1,600名
 - ・参加アスリート 塚原 直貴 氏 (北京オリンピック 4×100mリレー銀メダル)
藤光 謙司 氏 (2017年世界選手権大会 4×100mリレー銅メダル)
江里口 匡史 氏
川上 拓也 氏 (2017年日本選手権 100m5位)
山本 篤 氏

- リレー・フォー・ライフ上野
 - ・開催日 2019年10月19日(土)~20日(日)
 - ・開催地 東京都台東区上野区
 - ・参加者 約1,000名
 - ・参加アスリート 柳本 晶一 氏
根木 慎志 氏

- つな GO 石垣島
 - ・開催日 2019年12月8日(日)
 - ・開催地 沖縄県石垣市
 - ・参加者 約450名
 - ・参加アスリート 柳本 晶一 氏
朝原 宣治 氏 (北京オリンピック男子陸上4×100mリレー銀メダル)
沖口 誠 氏

- Road to ワールドマスターズゲームズ2021 関西 TSUNAGU in わかやま
 - ・開催日 2020年1月19日(日)
 - ・開催地 和歌山県和歌山市
 - ・参加者 約200名
 - ・参加アスリート 柳本 晶一 氏
江里口 匡史 氏
長崎 峻侑 氏 (トランポリン2016年世界選手権大会団体銀メダル)

- 講演「ゴールドenspportsイヤーズを契機とした“まちづくり”」
 - ・開催日 2020年2月11日(火・祝)
 - ・開催地 宮城県多賀城市
 - ・参加者 約100名
 - ・参加アスリート 柳本 晶一 氏

- つな GO 奄美
 - ・開催日 2020年2月23日(日)
 - ・開催地 鹿児島県奄美市
 - ・参加者 約6,000名
 - ・参加アスリート 柳本 晶一 氏
江里口 匡史 氏

12 組織委員会運営

(1) 組織委員会運営事業

① 幹事会

○ 第35回

- ・開催日 2019年4月19日(金)
- ・議題 ・組織委員会の構成・事務分掌について
・大会開催までのスケジュールについて など

○ 第36回

- ・開催日 2019年5月21日(火)
- ・議題 ・開閉会式コンセプト及びキャッチコピーについて
・競技別実施要項の内容精査について など

○ 第37回

- ・開催日 2019年6月24日(月)
- ・議題 ・各実行委員会広報・誘客にかかる取組・質問について
・全国自治宝くじ支援要請 など

○ 第38回

- ・開催日 2019年7月23日(火)
- ・議題 ・各実行委員会競技にかかる取組・質問について
・IMG Aからの確認事項及び対応について など

- 第39回
 - ・開催日 2019年8月30日(金)
 - ・議題
 - ・開催標準経費の交付について
 - ・知名度調査結果及び今後の広報展開について など

- 第40回
 - ・開催日 2019年9月26日(木)
 - ・議題
 - ・一般部門への障がい者の参加に配慮する競技について
 - ・競技概要(公式競技・オープン競技)の多言語化等について など

- 第41回
 - ・開催日 2019年10月28日(月)
 - ・議題
 - ・競技別実施要項について
 - ・大会参加規約について など

- 第42回
 - ・開催日 2019年11月28日(木)
 - ・議題
 - ・第6回レガシー創出委員会について
 - ・IMG Aの競技会場地視察等について など

- 第43回
 - ・開催日 2020年1月23日(木)
 - ・議題
 - ・各競技会に係る募集枠の調整等について
 - ・開催標準経費交付要綱(案)について など

- 第44回
 - ・開催日 2020年2月28日(金)
 - ・議題
 - ・第2次総合実施計画の策定(概要)について
 - ・大会参加申込状況について など

- 第45回
 - ・開催日 2020年3月27日(木)
 - ・議題
 - ・大会1年前イベントについて
 - ・ボランティア募集状況について など

- ② ニュースレターの発行

これまでは組織委員会関係者への活動内容の周知が主であったが、2019年度は報道露出の獲得を主目的とし、メディアからの要望を踏まえ、WMG2021 関西への参加を目指す方や過去大会参加者、生涯スポーツを愛する方へのインタビュー記事を掲載

また、組織委員会関係者のほか、マスメディアにも配布することで新聞・テレビ等での報道露出を獲得

 - Vol. 10の発行(1,500部)
 - ・発行日 2019年5月
 - ・内容
 - ・大会2年前イベント概要
 - ・ワールドマスターズゲームズ2021 関西推進議員連盟が発足

 - Vol. 11の発行(1,500部)
 - ・発行日 2019年9月
 - ・内容
 - ・佐原 律夫さん(テニス)へのインタビュー
 - ・ヨーロッパマスターズゲームズ2019でのPR活動

- Vol. 12 の発行(1,500 部)
 - ・発行日 2019 年 10 月
 - ・内 容 ・大河原 正晴さん(バドミントン)へのインタビュー
・兵庫県観光情報誌、オリエンテーリングリハーサル大会案内
- Vol. 13 の発行(1,500 部)
 - ・発行日 2019 年 11 月
 - ・内 容 ・木村 治愛さん(セーリング)へのインタビュー
・梅乃宿酒造綱引き部(綱引)へのインタビュー
- Vol. 14 の発行(1,500 部)
 - ・発行日 2020 年 1 月
 - ・内 容 ・三浦 喜明さん(トライアスロン)へのインタビュー
・曾我部 一行さん(テコンドー)へのインタビュー
- Vol. 15 の発行(1,500 部)
 - ・発行日 2020 年 2 月
 - ・内 容 ・坂本 聖二さん(スカッシュ)へのインタビュー
・近畿宝くじ「WMG2021 関西応援協賛くじ」の発売に関して
- Vol. 16 の発行(1,500 部)
 - ・発行日 2020 年 3 月
 - ・内 容 ・米澤 清彦さん(競歩)へのインタビュー
・小嶋 裕さん(オリエンテーリング)へのインタビュー

【参考】 実行委員会だよりの発行(1,500 部)

各実行委員会における大会に関する準備状況、観光情報 など

- ・Vol. 09(京都市) 発行日 2019 年 5 月
- ・Vol. 10(大阪市) 発行日 2019 年 6 月
- ・Vol. 11(徳島県) 発行日 2019 年 7 月
- ・Vol. 12(神戸市) 発行日 2019 年 8 月

(2) 常任委員会開催事業

○ 第 8 回常任委員会

- ・開催日 2020 年 3 月 6 日(金)
- ・出席委員 39 名
- ・議 題
 - ・第 2 次総合実施計画の策定(概要)について
 - ・全体事業計画及び 2020 年度事業計画・予算について
 - ・オープン競技の追加承認について
 - ・大会参加申込状況について
 - ・テストイベントの実施状況について
 - ・オリジナル KANSAI ONE PASS デザインについて
 - ・関係機関及び関係者との連携状況等について
 - ・メディアへの掲載状況(2019 年 4 月～2020 年 2 月)について

(3) 総会等開催事業

○ 令和元年 ワールドマスターズゲームズ 2021 関西 決起大会の開催

大会エントリー関連情報・競技別実施要項等の重要事項の発表、参加者 T シャツ・ボランティアポロシャツの発表やアンバサダーらによる大会出場宣言を実施したほか、13 府県政令市実行委員会による競技会場等の PR コーナーの設置など、大会開催に向けた機運醸成を図ったほか、ラグビーワールドカップ 2019 組織委員会、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会との連携協定に基づき、3 大会連携 PR を実施

- ・実施日 2019年11月19日(火)
- ・場所 ホテルニューオータニ大阪 鳳凰の間
- ・参加者 約600名
 - <大会応援大使> 武井 壮 氏
 - <大会アンバサダー> 朝原 宣治 氏 (北京オリンピック銀メダリスト)
 - 小田 幸平 氏 (野球解説者・評論家)
 - 山村 宏樹 氏 (野球解説者)
 - <大会アナバサダー> 柴田 博 氏 (朝日放送テレビ・アナウンサー)
 - 三浦 隆志 氏 (読売テレビ・アナウンサー)
 - <関係者> 井戸会長、松本会長、開催府県政令市の代表者、競技団体の代表者、協賛企業、国・府県政令市議会議員など
- ・内容
 - ・組織委員会会長挨拶
 - ・大会エントリー開始日、大会参加料金、競技別実施要項、ボランティア募集の発表
 - ・大会アンバサダー発表 等

- ワールドマスターズゲームズ2021 関西推進議員連盟総会の開催
大会成功に向けたさらなる機運醸成をめざした、持続的な大会PRと議員の大会参加などについて決議

- ・実施日 2019年11月20日(水)
- ・場所 都道府県会館
- ・出席者 二階俊博 衆議院議員(WMG2021 関西推進議員連盟会長)をはじめ国会議員有志52名を含む、約140名
 - <大会アンバサダー> 植田 辰哉 氏 (元バレーボール日本代表監督)
 - 千葉 真子 氏 (マラソンランナー)
 - 松田 丈志 氏 (元競泳日本代表)
- ・内容
 - ・組織委員会会長挨拶、議員連盟会長挨拶
 - ・大会概要説明
 - ・議員連盟決議 等

13 IMG A 連絡調整

- 開催地契約に基づく年度分開催地負担金の支払
 - ・支払日 2020年1月21日(火)
 - ・支払金額 93,750,000円(75万ユーロ)

【管理費】

14 事務局運営

(1) 事務局運営事業

業務の増加・細分化に伴う人員増などにより、事務局体制を拡充し、公益法人として適切な会計事務を執行

(2) 理事会等開催事業

① 理事会

○ 第1回

- ・日時 2019年5月26日(日)
- ・場所 大阪新阪急ホテル
- ・決議事項
 - ・平成30年度事業報告及び収支決算(案)について
 - ・開閉会式コンセプト及びキャッチコピーについて
 - ・評議員会の開催について

- 第2回(書面決議)
 - ・決議があったものとみなす日 2019年8月9日(金)
 - ・決議があったものとみなす事項 ・評議員、理事の選任について

- 第3回
 - ・日 時 2019年11月19日(火)
 - ・場 所 ホテルニューオータニ大阪
 - ・決議事項 ・競技別実施要項について
 ・大会参加規約について
 ・ボランティア募集要項について

- 第4回
 - ・日 時 2020年3月23日(月)
 - ・場 所 リーガロイヤルNCB
 - ・決議事項 ・全体事業計画及び2020年度事業計画・予算について
 ・オープン競技の追加承認について

② 評議員会

- 第1回(書面決議)
 - ・決議があったものとみなす日 2019年4月1日(月)
 - ・決議があったものとみなす事項 ・組織委員会の理事選任について

- 第2回(書面決議)
 - ・決議があったものとみなす日 2019年6月28日(金)
 - ・決議があったものとみなす事項 ・貸借対照表及び正味財産増減計算書の承認について
 ・組織委員会の評議員選任について
 ・組織委員会の理事選任について

- 第3回(書面決議)
 - ・決議があったものとみなす日 2019年8月30日(金)
 - ・決議があったものとみなす事項 ・組織委員会の評議員選任について
 ・組織委員会の理事選任について

附記

事業における重要な事項は、以上の2019年度事業報告書に記載されており、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は特に無いため、当該年度の附属明細書は作成しない。